



TENDA
EX TENDed Advisor

株式会社テンダ

2025年5月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

2025年1月14日

証券コード：4198

<https://www.tenda.co.jp/>

目次

エグゼクティブサマリー	P02
1. 2025年5月期 第2四半期業績ハイライト	P04
2. 2025年5月期 第2四半期以降の子会社化について	P14
3. 中長期ビジョン～2025年5月期を超えて	P19
4. 2025年5月期 通期業績予想と株主還元	P24
5. テンダグループのESG経営	P29
6. Appendix	P34



IRメール配信サービス

最新の適時開示等、当社IRに関する情報をご登録のメールアドレスにお知らせいたします。
ぜひご登録ください。<https://www.magicalir.net/4198/mail/index.php>

エグゼクティブサマリー

売上高

2,871 百万円

前年同期比 +30.8%

営業利益

306 百万円

前年同期比 +26.3%

親会社株主に帰属する 中間純利益

223 百万円

前年同期比 +31.0%

2025年5月期 第2四半期までの主な取り組み

- 前期M&A効果（Skyarts、X-VERSE PLUS、リーサコンサルティング。X-VERSE PLUS、リーサコンサルティングは当社へ吸収合併）により、売上高、営業利益、中間純利益が前期比大幅増。
- 既存ビジネスにおいても、好調なマーケット需要を背景として伸長。
- 大手SIerとの連携によるパブリックセクターへの参画も進展。

2025年5月期 上期の主なニュースリリース

2024年6月14日	IR	リーサコンサルティング（株）の吸収合併に関するお知らせ
2024年6月20日	サステナビリティ	若手IT技術者育成を目的とした「U-22プログラミング・コンテスト2024」への協賛を発表
2024年7月9日	トピックス	当社が伊藤忠テクノソリューションズ株式会社の2024年度「CTCアライアンスパートナー」に認定されたことを発表
2024年7月12日	IR	ストックオプション（新株予約権）の発行に関するお知らせ
2024年7月12日	IR	剰余金の配当（設立30周年記念配当）に関するお知らせ
2024年7月12日	IR	2024年5月期 決算短信、2024年5月期 通期決算説明資料
2024年8月23日	サステナビリティ	（株）ロイヤルホテル様がホテル運営に必要なマニュアル類作成の負担を軽減し、DX化推進のため、「Dojo®」および「Dojoウェブマニュアル™」を導入
2024年8月30日	IR	第29期 有価証券報告書
2024年9月20日	サステナビリティ	女性活躍推進企業認定として「えるぼし認定」を取得
2024年9月24日	サービス	（株）ヤマダデンキ様が運営する「ヤマダゲーム」においてリリースされた世界遺産 富岡製糸場を舞台としたドローンレースゲームを、当社連結子会社（株）テンダゲームスが「ゲームスラボ」により支援
2024年10月4日	サステナビリティ	当社、東北大学および株式会社CERCITが東北発の医療学習プラットフォーム構築に関する取り組みを開始
2024年10月8日	IR	2025年5月期 第1四半期決算短信、第30期 第1四半期四半期報告書
2024年10月29日	サービス	当社がShareGate日本国内販売実績No.1を達成し、記念キャンペーンを開催

1. 2025年5月期 第2四半期業績ハイライト

1. 2025年5月期 第2四半期業績ハイライト

2025年5月期 第2四半期連結業績

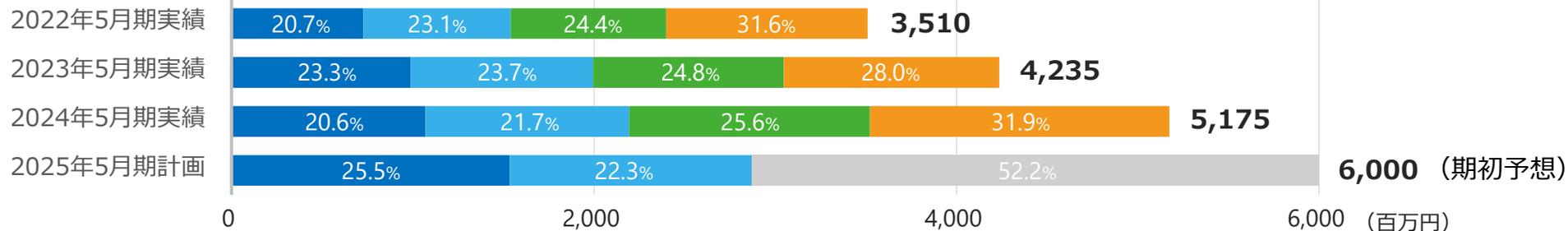
- 第2四半期は増収増益にて着地。オーガニック成長に加え、投資効果（M&A）も奏功。
- 成長投資を確実に実行したうえで、**特にEBITDAでは高い成長**を示す。
- M&Aにより子会社化した子会社群の更なる収益貢献を今後の課題と認識。

(単位：百万円)	2024年5月期	2025年5月期		
	2Q実績	2Q実績	増減額	増減率
売上高	2,194	2,871	+677	+30.8%
売上総利益	870	1,095	+225	+25.9%
売上総利益率	39.7%	38.1%	△1.6p	—
販管費	628	789	+161	+25.7%
営業利益	242	306	+64	+26.3%
営業利益率	11.0%	10.7%	△0.3p	—
経常利益	242	317	+75	+30.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	170	223	+53	+31.0%
EBITDA（営業利益+のれん償却額+減価償却費）	285	410	+124	+43.6%

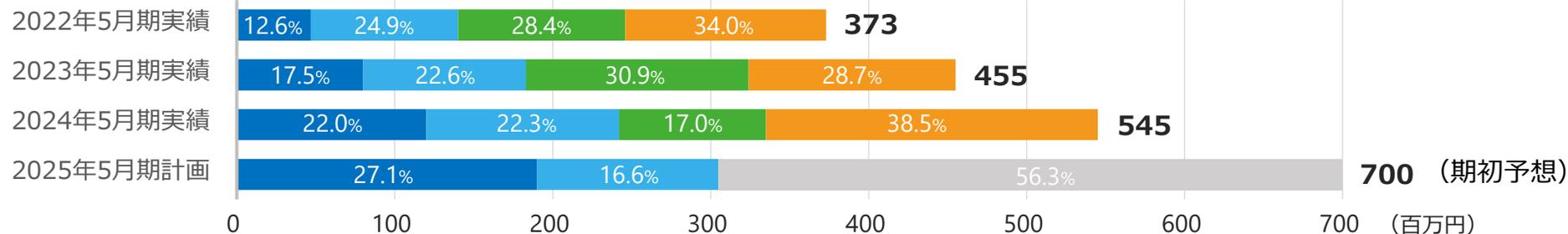
1. 2025年5月期 第2四半期業績ハイライト

2025年5月期 第2四半期の業績推移（サマリー）

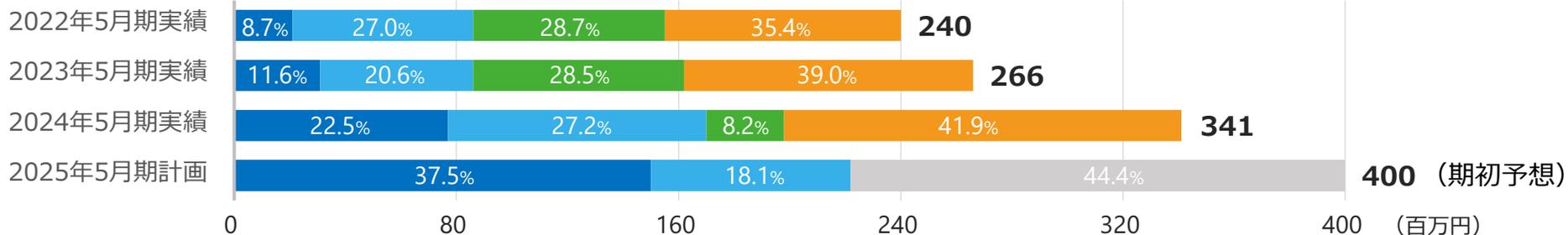
売上高



営業利益



当期（四半期） 純利益

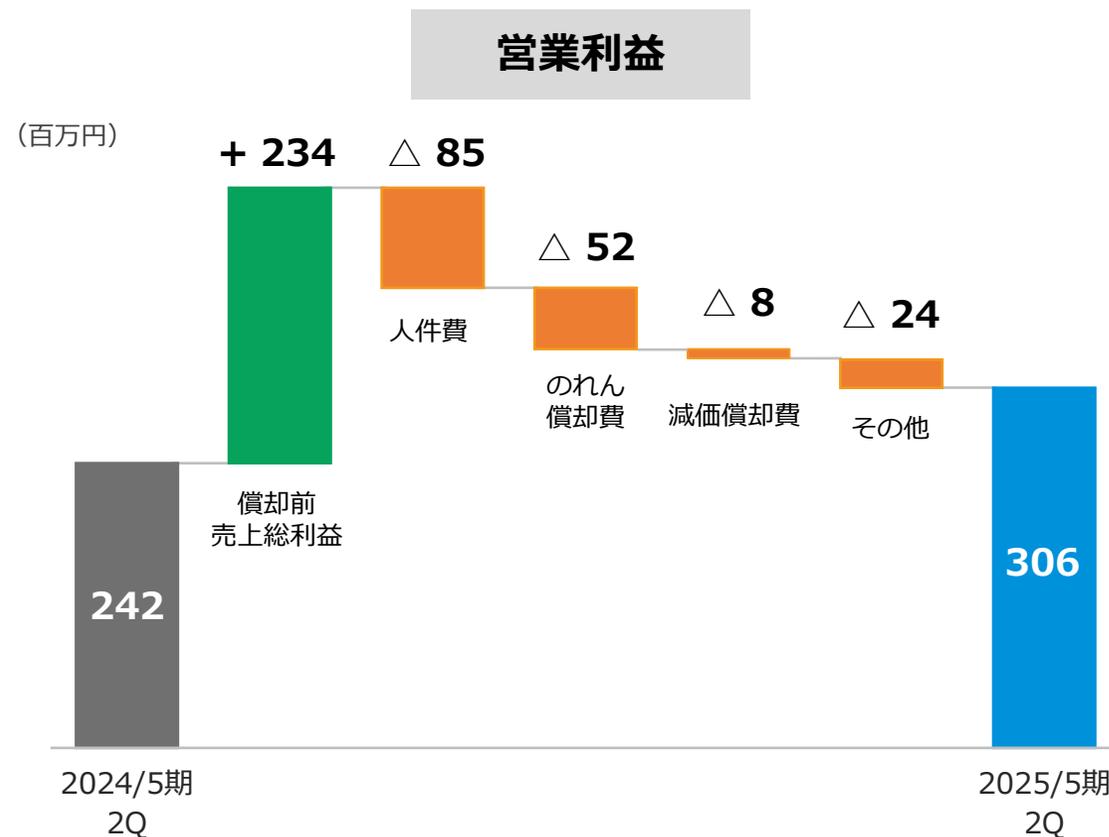
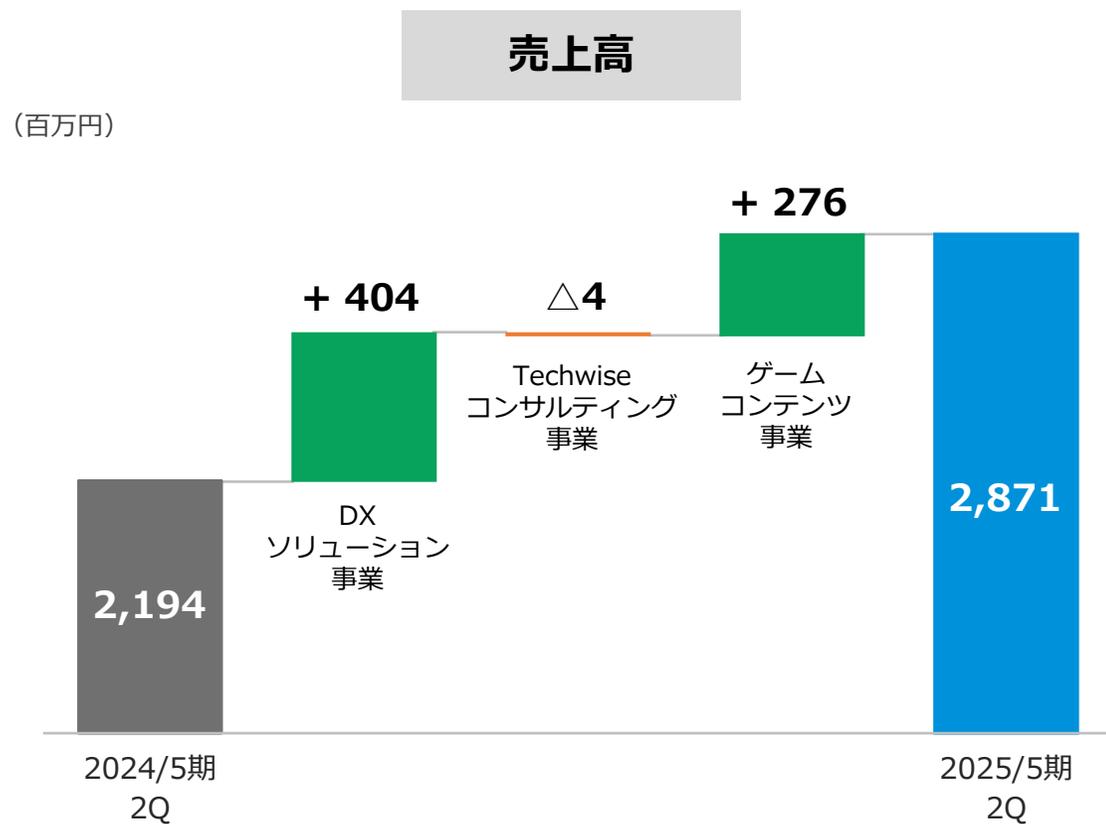


■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 第3四半期 ■ 第4四半期

1. 2025年5月期 第2四半期業績ハイライト

2025年5月期 売上高・営業利益の推移

- 売上高は、DXソリューション事業の続伸ならびにゲームコンテンツ事業の貢献により前期比増加。
- 営業利益は、安定的なDXソリューション事業が伸長。成長投資である**人件費やのれん償却費を吸収し前期比増。**



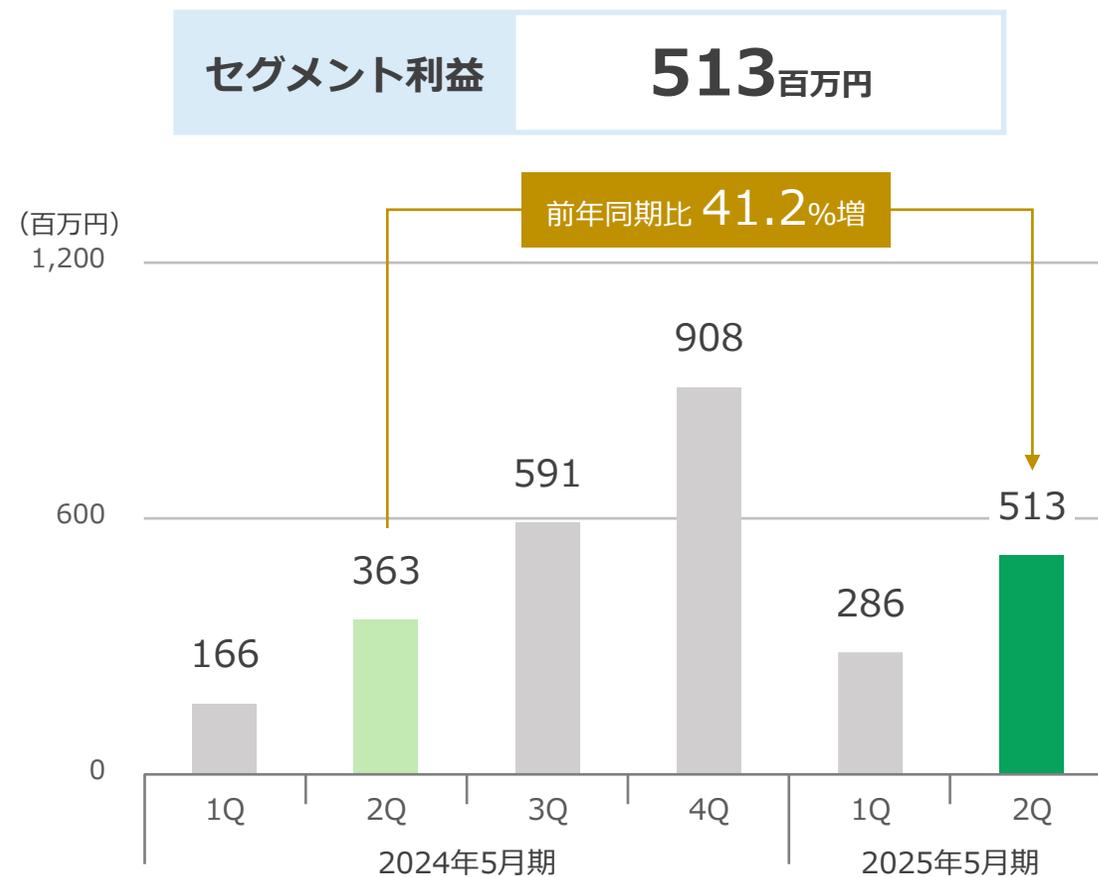
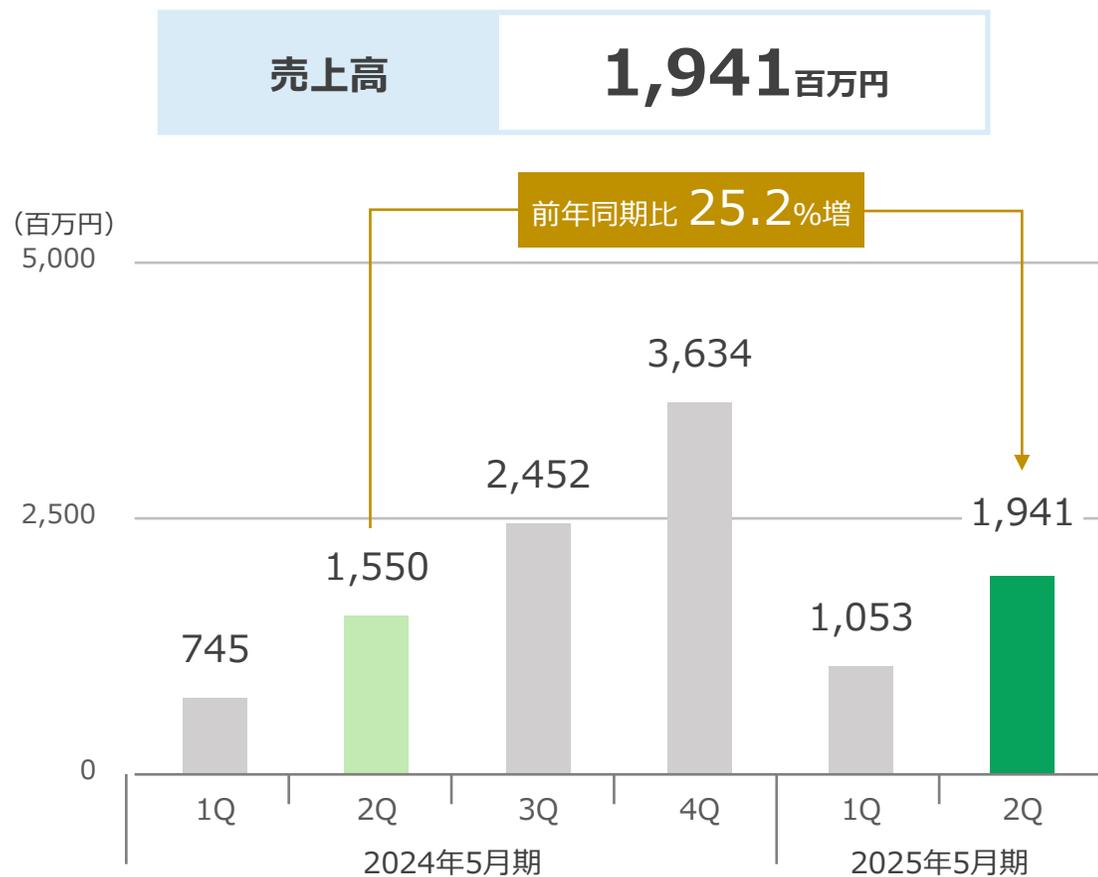
1. 2025年5月期 第2四半期業績ハイライト

2025年5月期 第2四半期セグメント別業績推移

(単位：百万円)		2024年5月期		2025年5月期		前年同期比
		2Q実績		2Q実績		
DXソリューション事業	売上高	1,550		1,941		25.2%
	セグメント利益 (利益率)	363	(23.4%)	513	(26.4%)	41.2%
Techwiseコンサルティング事業	売上高	427		422		△1.1%
	セグメント利益 (利益率)	116	(27.2%)	113	(26.8%)	△2.3%
ゲームコンテンツ事業	売上高	217		493		127.2%
	セグメント利益 (利益率)	36	(16.9%)	27	(5.5%)	△25.6%
連結業績	売上高	2,194		2,871		30.8%
	営業利益 (営業利益率)	242	(11.0%)	306	(10.7%)	26.3%

DXソリューション事業の概況

■ 既存顧客より新規、継続案件を獲得したことにより、**売上高・セグメント利益ともに堅調に推移。**



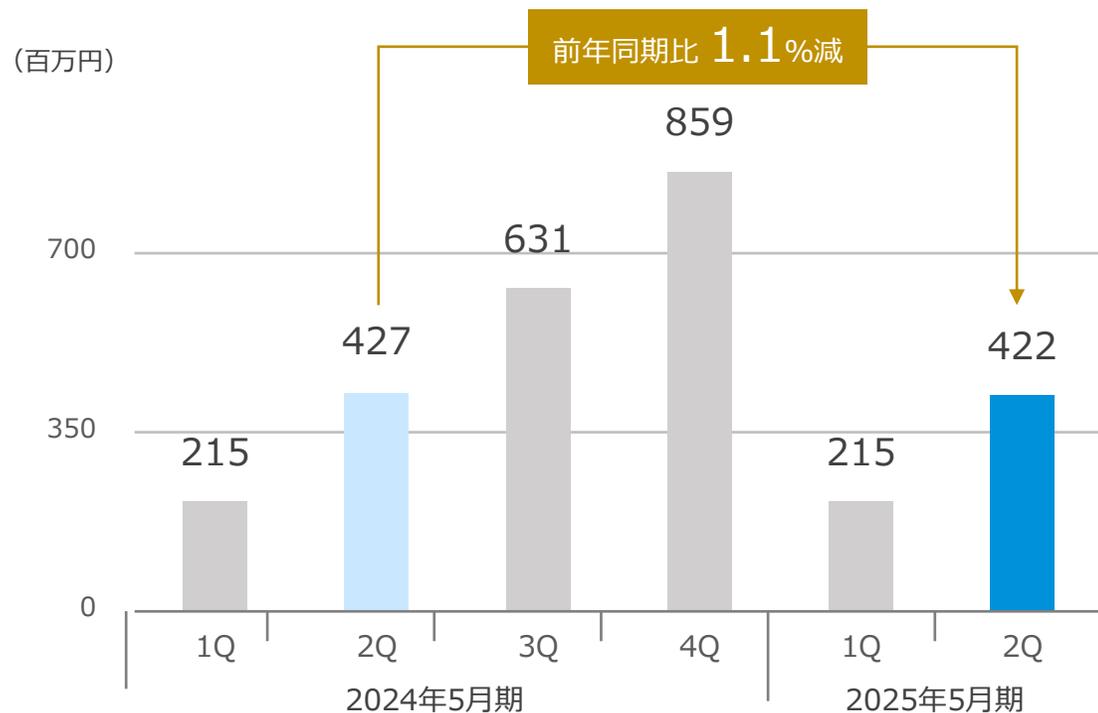
* 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、本数値は、変更後の区分に基づいております。

Techwiseコンサルティング事業の概況

- Dojoシリーズについて、競争激化により新規販売は苦戦するも、**保守は堅調に推移。**

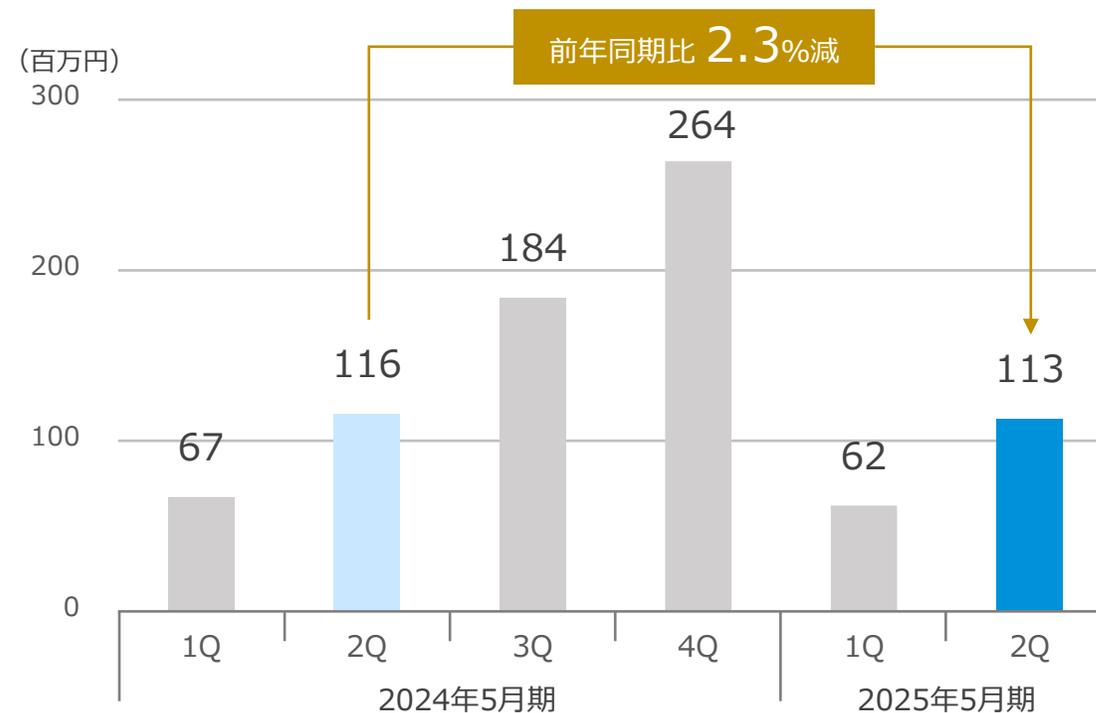
売上高

422百万円



セグメント利益

113百万円



* 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、本数値は、変更後の区分に基づいております。

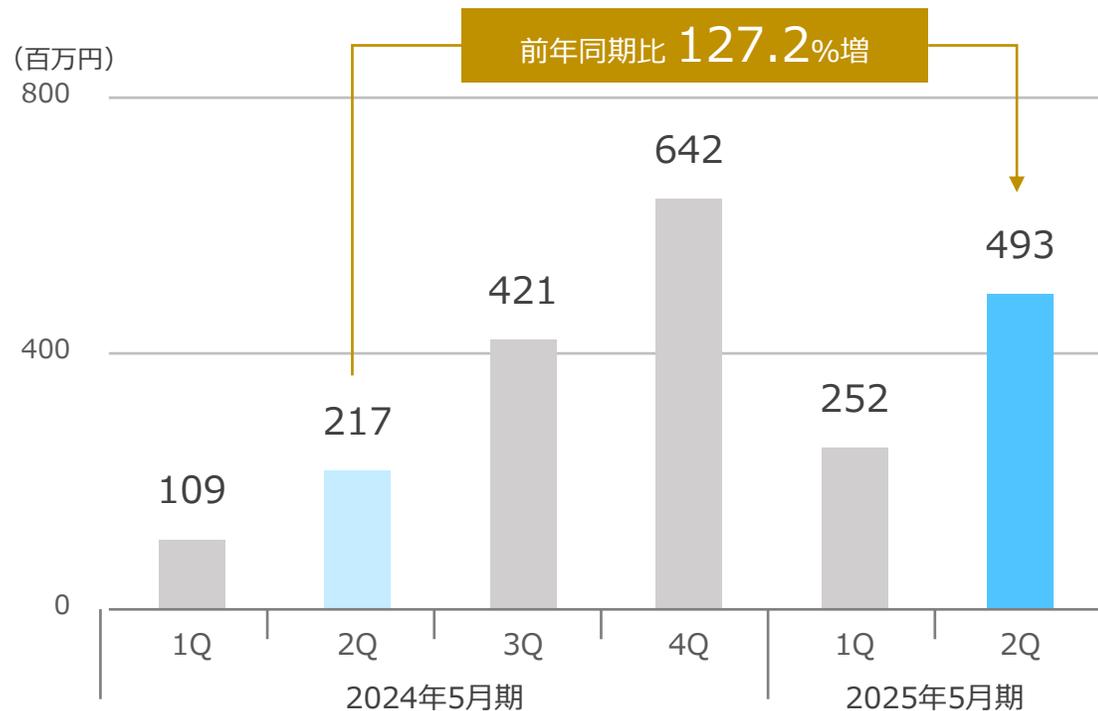
1. 2025年5月期 第2四半期業績ハイライト

ゲームコンテンツ事業の概況

- 大手顧客からの受託が寄与して、**売上高は好調に推移**。
- 利益面においては、Skyarts社の統合プロセスにかかる人件費が一時的に増加した影響により前期比減。

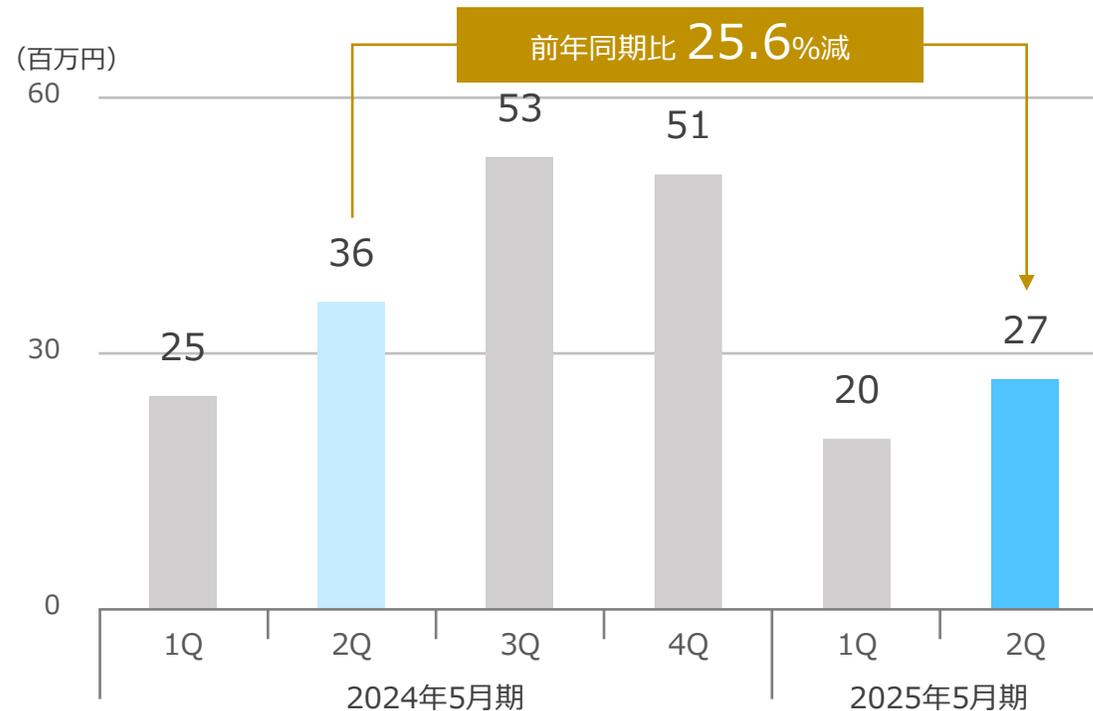
売上高

493百万円



セグメント利益

27百万円



連結貸借対照表サマリー

■ M&A等の成長投資を実行しつつ、**自己資本比率は更なる高水準を維持。**

(単位：百万円)	2024年5月末	2024年11月末	増減	
流動資産	2,875	2,882	7	現金及び預金 +109百万円 受取手形・売掛金 △161百万円 その他流動資産 +59百万円など
固定資産	1,029	927	△102	
有形固定資産	62	22	△40	
無形固定資産	725	659	△66	のれん △69百万円など
投資その他の資産	242	245	3	
資産合計	3,905	3,809	△95	
負債合計	1,331	1,121	△209	
流動負債	1,145	975	△169	買掛金 △88百万円 1年内返済予定の長期借入金 △37百万円など
固定負債	185	146	△39	
純資産合計	2,574	2,687	113	親会社株主に帰属する 中間純利益 +223百万円 剰余金の配当 △109百万円など
負債・純資産合計	3,905	3,809	△95	
自己資本比率	65.9%	70.5%	4.7pt	

1. 2025年5月期 第2四半期業績ハイライト

連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

(単位：百万円)	2024年5月期 2Q	2025年5月期 2Q	差額	主な内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	209	329	120	<ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前中間純利益 341百万円 のれん償却額 69百万円 売上債権、契約資産の減少額 161百万円 仕入債務の減少額 △88百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32	1	33	<ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産の売却 53百万円 無形固定資産の取得 △34百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6	△219	△213	<ul style="list-style-type: none"> 短期借入金の返済 △50百万円 長期借入金の返済 △59百万円 配当金の支払 △109百万円
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,268	1,818	△450	<ul style="list-style-type: none"> 前期第3四半期に実施の子会社取得にかかる費用 △700百万円の影響など

2. 2025年5月期 第2四半期以降の子会社化について

2025年5月期 第2四半期以降に発表した株式取得（子会社化）に関するお知らせ

インテリジェントシステムズ株式会社（2024年12月13日発表）

 <https://www.isc-g.jp/>

Intelligent systems 
インテリジェントシステムズ株式会社

- インテリジェントシステムズ社は、受託開発事業、SES事業を柱とし、業務用アプリケーションなどのソフトウェア開発、システムの運用・保守を展開。
- 受託開発では、業務知識と開発力を背景に、**公営競技、製造業、官庁向けシステム**などの業務アプリケーション開発や生産管理・物流システム、売上・仕入管理システムなども手掛ける。SES事業では、**大手中堅SIer**と長期にわたる信頼関係を構築。

2025年5月期 第2四半期以降に発表した株式取得（子会社化）に関するお知らせ

株式会社Almondo（2024年12月19日発表）

 <https://almondotech.com/>



- Almondoは、東京都文京区本郷に拠点を構える**東京大学 松尾開発スタートアップ**。現在はAIソリューションの開発、販売、提供を中心に事業を展開。
- （株）松尾研究所や研究機関にてAIの研究・実装に携わり、**プロダクト開発を多数行ってきた人材**が集う、プロフェッショナル集団。

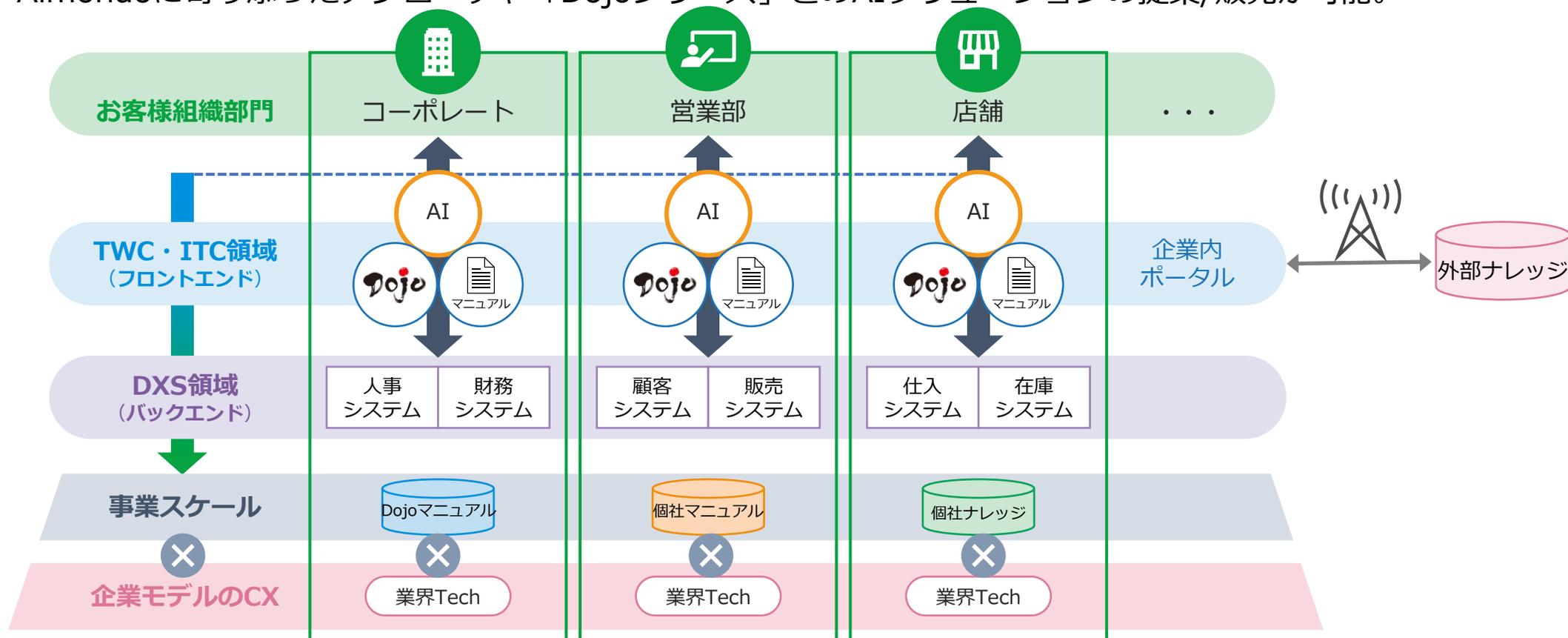
次世代先端技術「AI」の『社会実装』を推進するためのM&A

2025年5月期 第2四半期以降に発表した株式取得（子会社化）に関するお知らせ

■ Almondo社を中心とした戦略の方向性

①多様な業界にわたる弊社顧客基盤へのアプローチ、インダストリー特化ソリューション共創

- ・「Dojoシリーズ」は、業種・会社規模も多岐にわたる広域顧客基盤を有し、累計3,000社以上への提供実績。
- ・Almondoに寄り添ったアプローチや「Dojoシリーズ」とのAIソリューションの提案/販売が可能。

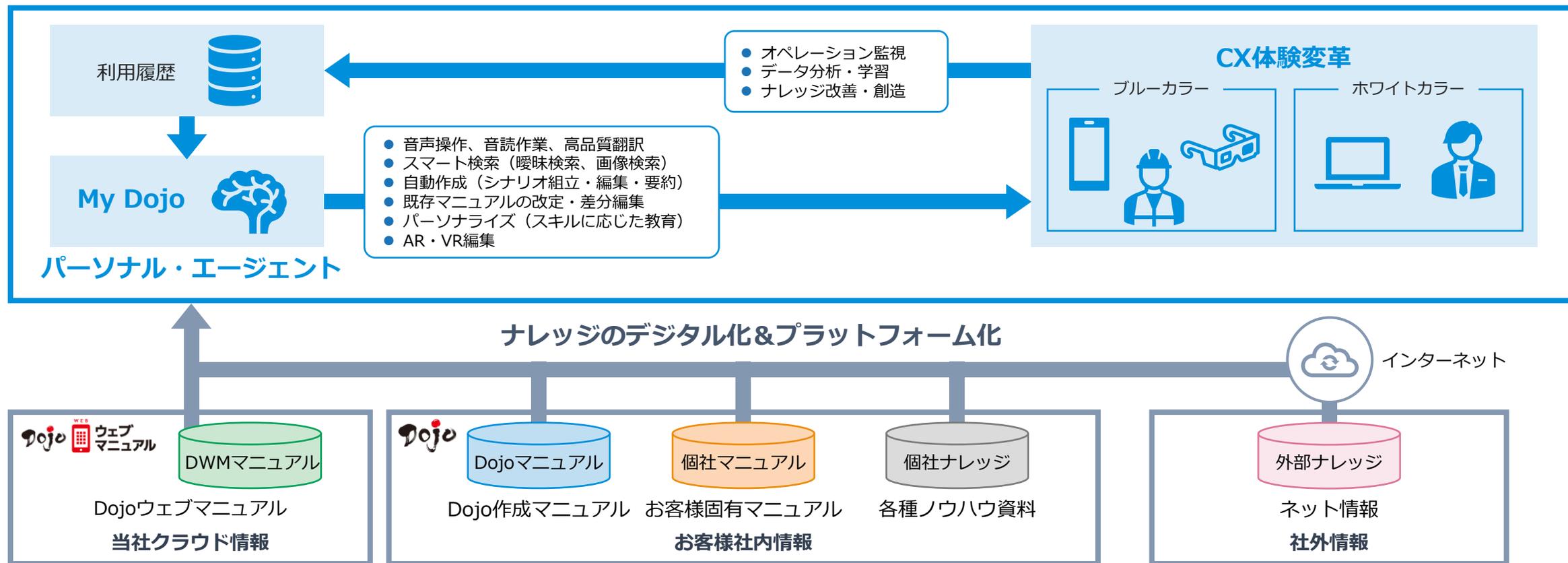


2025年5月期 第2四半期以降に発表した株式取得（子会社化）に関するお知らせ

■ Almondo社を中心とした戦略の方向性

②両社プロダクト協業による「ナレッジ活用プラットフォーム」を通じたサービスのAI社会実装

- AlmondoのAI技術やFAQサービスと当社Dojoシリーズの協業により、高度なナレッジ活用が可能なプラットフォームビジネスを通じた、生産性向上や品質向上サービスの社会実装を推進/検討



3. 中長期ビジョン～2025年5月期を超えて

3. 中長期ビジョン～2025年5月期を超えて

2026年5月期で達成を目指す定量目標

- 2023年5月期の実績を元に、2026年5月期には**売上高：80億円（CAGR23.5%）**、**当期純利益：7億円（CAGR37.3%）**、**基礎的営業CF：9億円（CAGR34.4%）**を目指す（3ヶ年中計）。
- 更には、成長投資を確実に実行したうえで、本中計内においては累進配当を実行する。

売上高



成長目標

1.9倍

CAGR

23.5%

当期純利益



成長計画

2.6倍

CAGR

37.3%

基礎的営業CF



成長計画

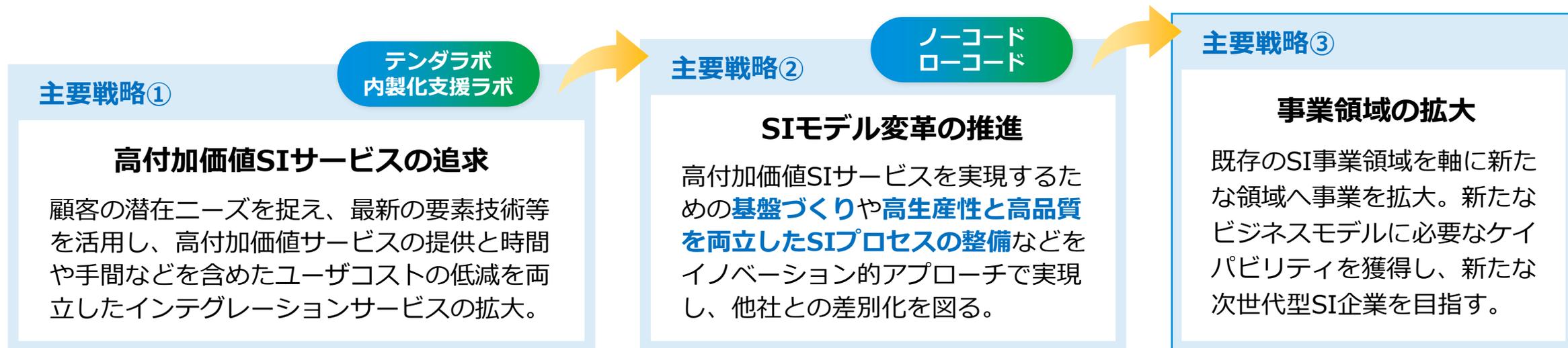
2.4倍

CAGR

34.4%

DXソリューション事業におけるあらたな方向性

- 当社DXソリューション事業の規模拡大に伴い、①**生成AI関連（LLM及び周辺技術）の活用の拡大**、②**大規模アプリケーション、ソフトウェア領域におけるワンストップ対応**としてのインフラ（サーバー）領域の対応需要が拡大している。
- これまではテндаソリューションサービス（SI、ラボ）において未注力領域であったインフラ領域の対応強化を、上記目的として本格的に開始を検討。
 - ① 推進リソース獲得
 - ② パートナー獲得（パートナーネットワーク）
 - ③ M&Aによる事業基盤獲得
 - ④ マーケット獲得：拡大領域においてテндаへの期待感をもっていただける顧客の複数獲得



ゲームコンテンツ事業における戦略

- ゲームおよび映像コンテンツの受託開発により安定的な収益を確保し、さらに、**新たな事業領域への進出を行い収益の拡大を図る。**

①受託開発による安定的な収益の確保



②新たな領域への進出による収益の拡大

- ハイブリッドカジュアルゲームの開発・リリース
- **グローバル展開を視野に入れたゲームタイトルへの参画**

ゲームコンテンツ事業 『信長の野望・天道』 IP許諾タイトル について

- 『信長の野望・天道』 IP許諾タイトル 現在開発中 **2025年配信開始予定。**
- 株式会社コーエーテクモゲームスが著作権及び関連する知的財産権を保有する『信長の野望・天道』に関する使用許諾を受け中国のKingnet社(Kingnet Network Co., Ltd.)と協力の上で**スマートフォン向けゲームアプリを開発中。**



©Kingnet Network Co., Ltd. ©TENDA Games Co., LTD. ©コーエーテクモゲームス All rights reserved.

※「IP許諾タイトル」：他社が保有する知的財産（Intellectual Property, IP）を許諾を受けて使用して制作・提供されるコンテンツや製品のこと。人気アニメをベースにしたゲームなど。

4. 2025年5月期 通期業績予想と株主還元

4. 2025年5月期 通期業績予想と株主還元

2025年5月期 通期業績予想

- 事業会社のソフトウェア投資は近年急速に拡大。
- IT人材は「量」・「質」とも不足（特に先端IT技術を有する「デジタル人材」の不足が顕著）。
- これらをビジネスチャンスと捉え、企業成長を目指す。

(単位：百万円)	2024年5月期	2025年5月期		
	実績	予想	増減額	増減率
売上高	5,175	6,000	825	+15.9%
営業利益	545	700	155	+28.2%
経常利益	547	700	153	+27.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	341	400	59	+17.3%

株式分割

- 2024年6月1日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

株式分割の目的

新たな制度改革（新NISAの導入等）を契機に、**投資単位当たりの金額を引き下げ**、株式流通量の増加による**投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図る**ことを主眼としております。

株式分割について

分割の割合	1株につき3株の割合で分割
基準日	2024年5月31日（金曜日）
効力発生日	2024年6月1日（土曜日）

	株式分割前	株式分割後
発行済株式総数	2,197,200株	6,591,600株
発行可能株式総数	8,000,000株	24,000,000株

期末配当予想

1. 記念配当実施の理由

1995年6月1日に設立された当社は、2025年5月期より第30期を迎えました。
これを機に、ステークホルダーの皆様への感謝を配当という形で表明いたします。

2. 配当の内容

2025年5月期の1株当たり期末配当22円に**1株当たり5円の記念配当を実施し、27円**と予定。

3. 配当の状況

【2024年5月期決算短信より一部抜粋】

	年間配当金 (円)			配当金総額	配当性向
	第2四半期末	期 末	合 計		
2025年5月期 (予想)	-	27円00銭 (普通配当22円00銭) (記念配当 5円00銭)	27円00銭 (普通配当22円00銭) (記念配当 5円00銭)	177百万円* (普通配当145百万円) (記念配当 32百万円)	44.5% (普通配当36.3%) (記念配当 8.2%)
2024年5月期 (株式分割前換算)	-	16円67銭 (50円00銭)	16円67銭 (50円00銭)	109百万円	32.0%

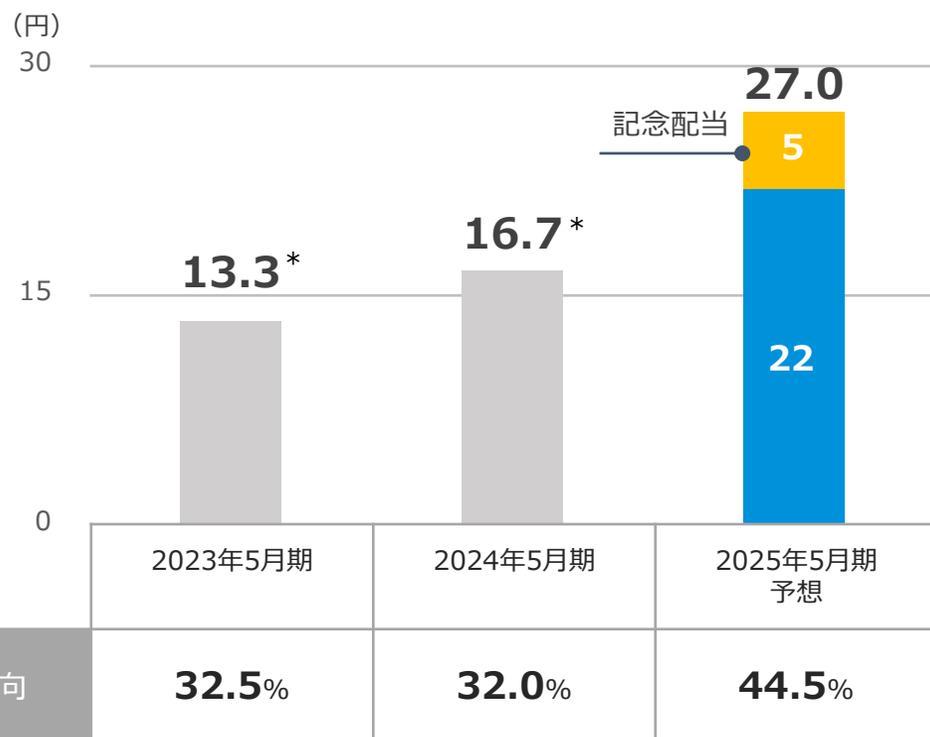
*2024年5月期末発行済株式数にて算出

4. 2025年5月期 通期業績予想と株主還元

株主還元方針

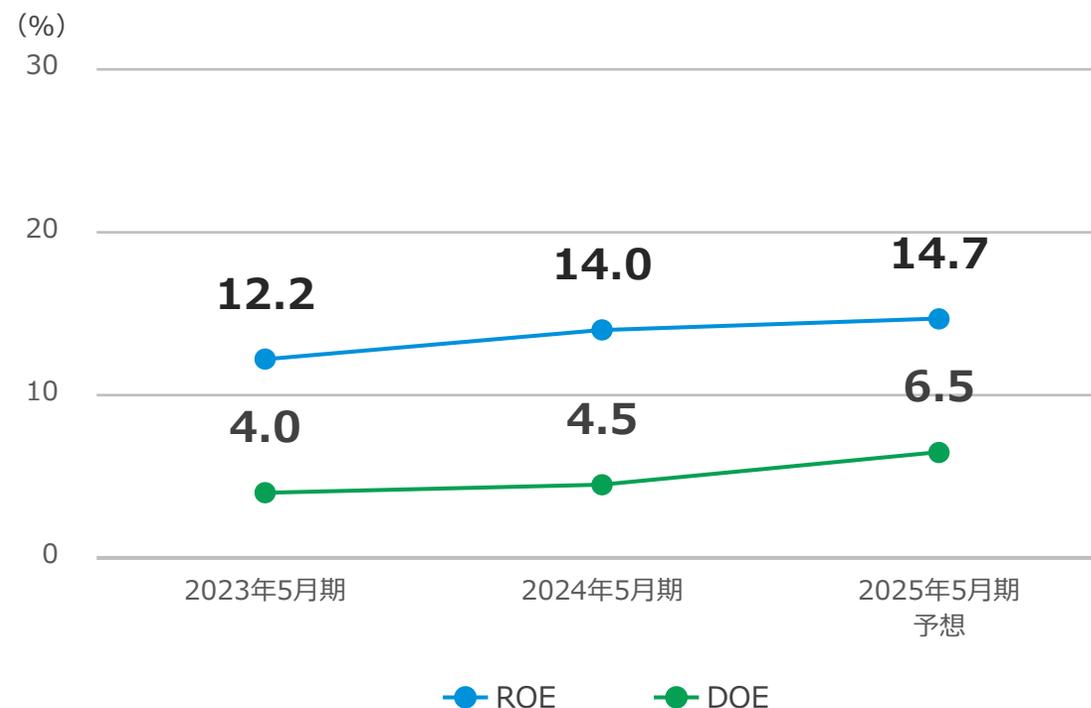
- 株主への還元を第一に、配当原資確保のための収益力を強化。継続的かつ安定的な配当を「機動的に」実行。
- 2025年5月期の期末配当（予想）は**設立30周年を記念**して、**記念配当5円**を加え**27円を予定**しております。

1株当たりの配当金



* 2023年5月期および2024年5月期 配当金は、株式分割後換算値を記載。

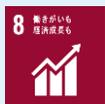
ROEとDOEの推移



5. テンダグループのESG経営

テンダが取り組むESG経営

E Environment 環境負荷低減



- 社内DXによるペーパーレス化の推進（電子契約書システムの使用など）
- 社内会議のペーパーレス化の推進（取締役会、経営会議など各種会議体/稟議書など社内書類）
- クール・ウォームビズの拡充（オフィス環境の整備/ノーネクタイ勤務の実施など）

S Social 社会への貢献



- 独自のキャリアパス・研修制度の整備（新人研修/技術研修/資格取得支援制度/書籍購入補助など）
- ワークライフバランスの推進（リモート勤務/オンライン会議システム/バーチャルオフィスなど）
- 技術革新を推進する研究開発への投資（「U-22プログラミング・コンテスト2024」に協賛）
- 多様な人材が活躍できる制度（女性活躍推進企業認定として「えるぼし認定」を取得）

G Governance ガバナンス強化



- ダイバーシティの推進（管理職の女性比率の向上/外国籍人材の採用拡充/障がい者採用の推進など）
- コーポレートガバナンスの整備（社外取締役/常勤監査役・監査役会/内部監査/会計監査人など）
- 情報セキュリティの整備（情報セキュリティ基本方針/ISMSの取得・更新/ Pマークなど）
- コンプライアンス・リスク管理（リスク管理委員会/コンプライアンス教育/各種規程の整備など）

サステナビリティに関する考え方及び取組～人的資本に関する戦略

① 人材の多様性の確保を含む人材の育成方針

当社グループが経営理念として掲げる「SHINKA経営」では、「人」、「会社」、「社会」が相互に影響しあい成長する、成長循環をスムーズにまわすことを目指す。中長期的な企業価値向上と持続可能な社会に貢献する企業としてあり続けるために、新卒・キャリア、性別、年齢、国籍等にこだわらず人材の確保・登用を行うとともに、多様な人材が活躍でき、心身ともに健康に働くことができる環境づくりに取り組む。

② 社内環境の整備

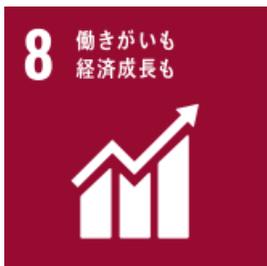
従業員一人ひとりが持つ個性や才能を重視しており、また事業や業務の特性に応じて多様化を図る。一人ひとりに合わせた柔軟なキャリアパスを実現するための採用、適材適所の配置、公正な評価制度、資格取得支援制度をはじめとする教育制度を充実させ、個人の成長に繋がる制度を整備。

働き方においては、リモートかつフレキシブルな開発体制を構築しており、さらには社内の業務ワークフローのDX化に取り組み、生産性を向上。

女性の活躍推進においては、経験や意欲に応じてキャリア機会の創出、公正な評価を実施し、女性管理職も増加。多様な人材が心身ともに健康に働くための環境を整備。

事業を通じた社会課題解決に向けた貢献活動

■ 「Dojoシリーズ」の活用事例～「ホワイトカラーの業務効率化」と社会課題解決への参画事例～



DojoとDojoウェブマニュアルで教育基盤を整備し、デジタルトレーニングを実施。**人材育成、インバウンド需要対応などを通じ、より高いホスピタリティ提供の実現へ。**

リーガロイヤルホテル（大阪）を中心に13のホテルを運営する株式会社ロイヤルホテルが、DojoとDojoウェブマニュアルを導入。本番環境を疑似体験できる“シミュレーションコンテンツ”を活用。

Dojoの導入により、マニュアル作成の時間短縮と作業負担軽減を実現。Dojoウェブマニュアルの導入により、現場ならではの接客や立ち振る舞いを、動画でレクチャーすることが可能になった他、外国人従業員の母国語に対応したマニュアルの提供を実現。



■ 若手IT技術者育成への支援として、「U-22プログラミング・コンテスト2024」に協賛



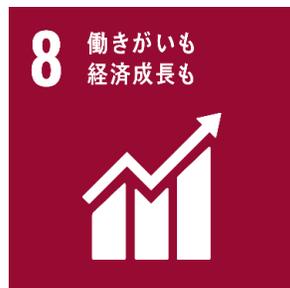
若手のIT技術者育成を目的とし、「プログラミング」技術を活用して、自分たちのアイデアを形にした、オリジナルのアプリケーションやサービスを審査する「U-22プログラミング・コンテスト」に協賛し、支援することで、**次世代を担う優秀なIT技術者の育成に貢献。**

（最終審査会は、2024年11月17日（日）に開催）



女性活躍推進に関する取り組み

- 当社において、女性活躍推進企業認定として「えるぼし認定」を取得



人的資本に関する戦略として**新卒・キャリア、性別、年齢、国籍等にこだわらず人材の確保・登用を行うとともに、多様な人材が活躍でき、心身ともに健康に働くことができる環境づくりを推進。**

女性活躍推進において、働きたい女性が個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目的として「行動計画」を策定し、計画達成に向けた取り組みを進めており、直近では、経験や意欲に応じてキャリア機会の創出、公正な評価を実施し、技術職に占める女性割合の増加や、管理職候補（課長級）に占める女性比率の向上を推進。

このような取り組みの結果、厚生労働省が定めた女性の活躍に関する5つの評価項目のうち、「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「多様なキャリアコース」の4項目の基準が評価され、えるぼし認定（2つ星）の認定を取得。今回基準には至らなかった「管理職比率」については、女性比率向上に向けて取り組みを継続。

6. Appendix

6. Appendix - 会社概要

ITサービスで人と社会の価値を創出する



社名
株式会社テンダ



代表者
代表取締役会長 取締役会議長 小林 謙
代表取締役社長CEO 藺部 晃



従業員
408名 (2025年1月1日時点・グループ連結)



設立
1995年6月



資本金
318百万円 (2024年11月末時点)



所在地

【渋谷オフィス】 (本社機能)	東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号 WeWork 渋谷スクランブルスクエア
【池袋オフィス】 (登記上の本店)	東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 WeWork メトロポリタンプラザビル
【東北支店オフィス】	宮城県仙台市宮城野区榴岡一丁目1番1号 WeWork JR仙台イーストゲートビル



事業内容 (2024年6月1日～)
DXソリューション事業
Techwiseコンサルティング事業
ゲームコンテンツ事業



グループ会社
大連天達科技有限公司
三友テクノロジー株式会社
株式会社テンダゲームス
株式会社Skyarts
インテリジェントシステムズ株式会社
株式会社Almondo

6. Appendix - 沿革

技術力と人材育成を軸に、着実に成長

- | | | | | | | | |
|------|-----|---|--|------|-----|---|--|
| 1995 | 6月 | ● | 株式会社テンダ設立 | 2022 | 7月 | ● | 渋谷オフィス（本社機能）、池袋オフィス（登記上の本店）、東北支店オフィス移転 |
| 2008 | 3月 | ● | マニュアル&シミュレーションコンテンツ作成ソフト「Dojo」を販売開始 | | | ● | エンジニアリング機能および技術力強化を目的として三友テクノロジー株式会社を連結子会社化 |
| 2011 | 3月 | ● | 中国大連市に大連科技軟件有限公司を設立（現連結子会社） | 2022 | 12月 | ● | 自社ゲームにおけるノウハウを武器にゲームコンテンツ事業のビジネスモデル強化を目的として有限会社熱中日和（現株式会社テンダゲームス）を連結子会社化 |
| 2013 | 3月 | ● | 宮城県に仙台支店開設（2022年6月 東北支店に名称変更） | 2023 | 1月 | ● | プロゴルファー大和笑莉奈選手との所属契約を締結 |
| | 11月 | ● | 企画、制作、セールスプロモーション業務の強化を目的としてアイデアビューロー株式会社を連結子会社化 | 2023 | 4月 | ● | DMM GAMESでカードバトルRPG「ヴァンパイア+ブラッド」のサービス開始 |
| 2018 | 12月 | ● | RPAを低コスト、且つ自社で実現することができるRPA導入時の課題解決ソリューションプラットフォーム「D-Analyzer」を販売開始 | 2023 | 5月 | ● | 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証の適用範囲を拡大 |
| 2019 | 4月 | ● | システムの操作手順を画面上でナビゲーション表示する「分かり易さ」を追求したマニュアルソリューションサービス「Dojo Sero（2021年6月 Dojoナビに名称変更）」を販売開始 | 2023 | 8月 | ● | 有限会社熱中日和を「株式会社テンダゲームス」に商号変更 |
| 2021 | 6月 | ● | 東京証券取引所ジャスダック市場（現 スタンダード市場）に上場 | 2023 | 12月 | ● | リーサコンサルティング株式会社を子会社化 |
| | 10月 | ● | 株式会社博報堂プロダクツ、東北・仙台エリアのSI企業8社と有限責任事業組合 博報堂プロダクツテクノロジーズ東北（HPTT）を設立 | | | ● | 株式会社Skyartsを子会社化 |
| | 11月 | ● | スマートフォンで簡単にマニュアル作成・共有ができるクラウドサービス「Dojoウェブマニュアル」をリリース | 2024 | 1月 | ● | 株式会社X-VERSE PLUSを子会社化 |
| 2022 | 1月 | ● | 「センター共通利用型クラウドRPAソリューション」を開発、提供開始 | 2024 | 2月 | ● | 経済産業省が定める「DX認定事業者」に認定 |
| | 6月 | ● | マニュアル自動作成ツール「Dojo」累計導入企業3,000社突破 | 2024 | 9月 | ● | 厚生労働省が定める「えるぼし認定（2つ星）」を取得 |
| | | | | 2024 | 12月 | ● | インテリジェントシステムズ株式会社を子会社化 |
| | | | | | | ● | 株式会社Almondoを子会社化 |

IT人材派遣・請負から事業を開始

IT開発実績を積み上げ、人材育成を強化し、マニュアルソフトを開発

豊富な開発実績をもとにITソリューションとプロダクト事業領域を拡大

PHILOSOPHY

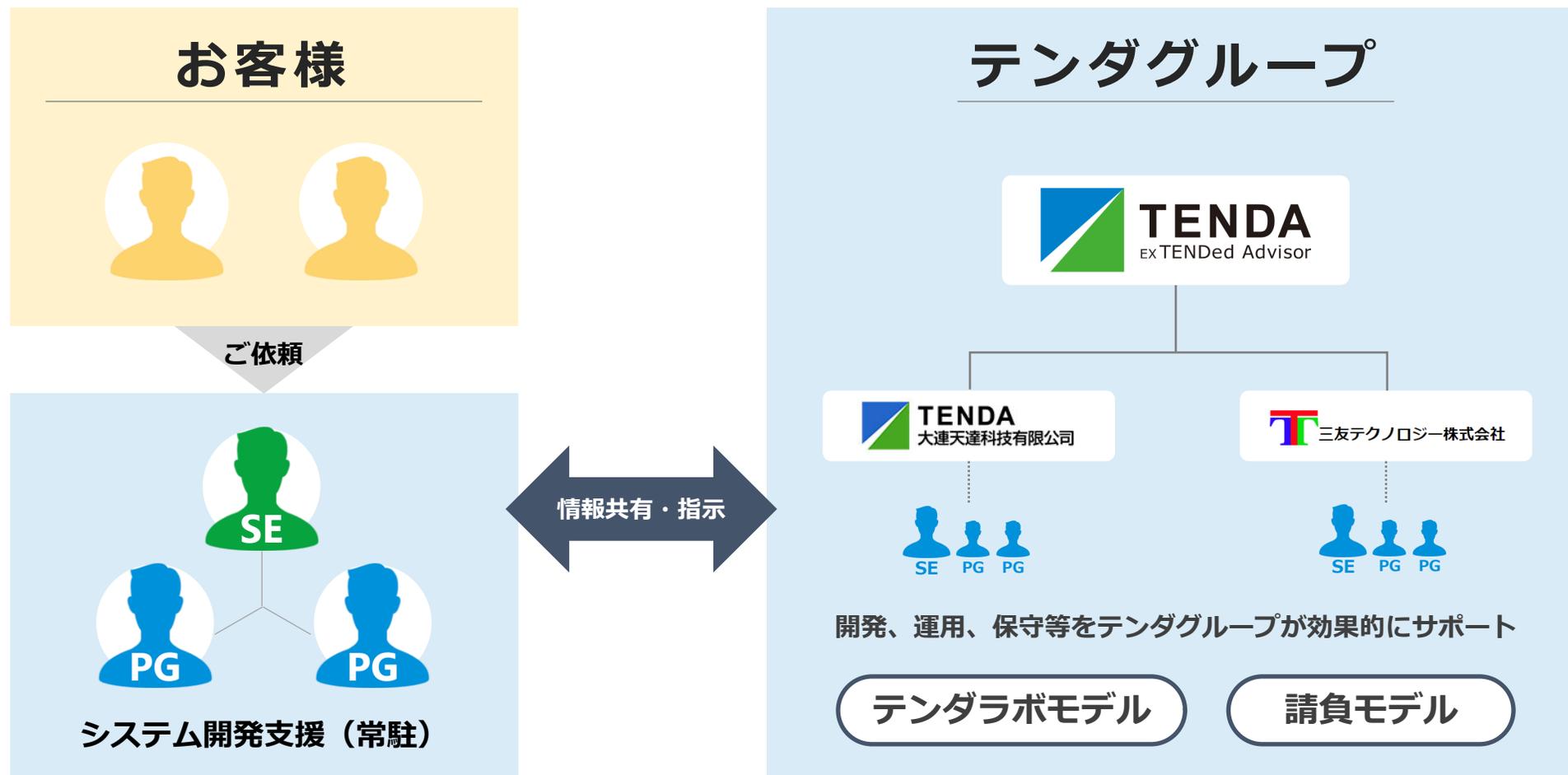
経営理念

人と会社が相互に育てあい、社会と顧客に喜ばれ、
豊かな人生を作り上げる企業文化を育む



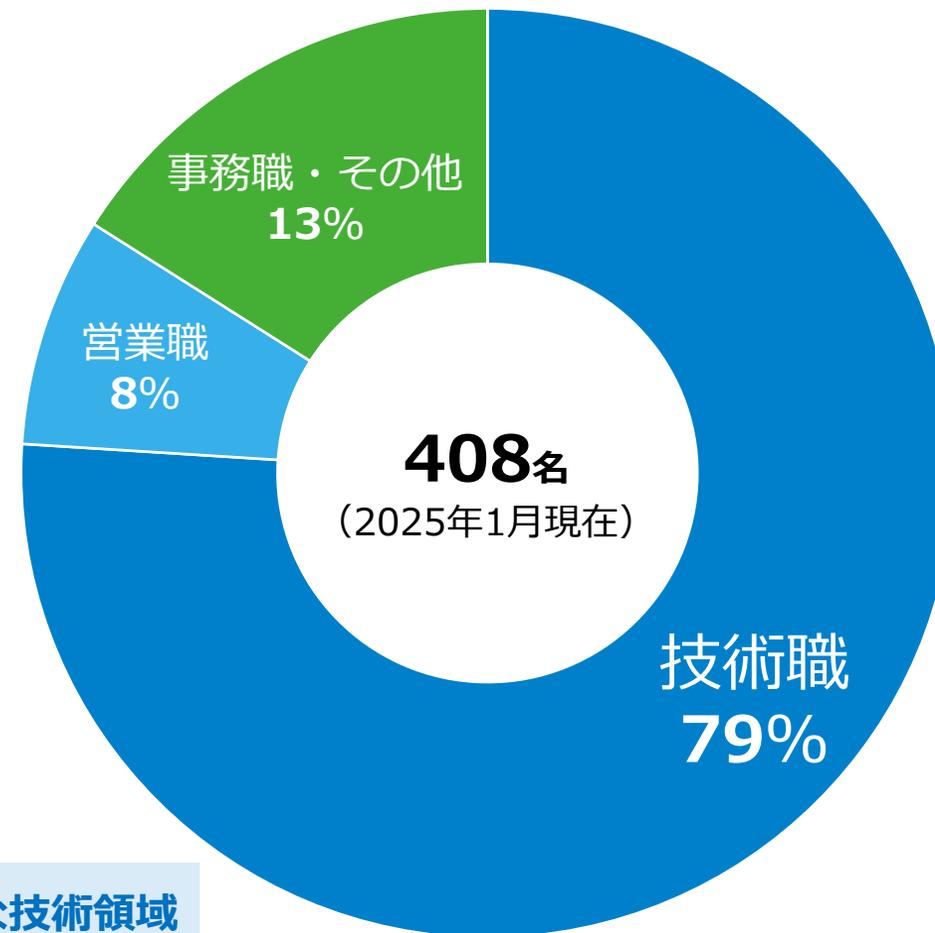
6. Appendix - 強み① 顧客満足度を高めるハイブリッド（常駐+請負/テナダラボ）型 体制構築

お客様社内に常駐し、お客様毎に異なるノウハウを吸収した技術者を主軸とすることで、請負/テナダラボでのシステム開発・運用・保守など効果的に行う事が可能となります。



ワークスタイル変革による業務効率化・自動化、生産性向上が急務とされる社会において、それを支えるIT人材不足は日本が抱える重要課題の一つです。

当社は創業当時よりIT人材の育成や外部リソースを活用したネットワークを構築しています。また、コロナ禍においてニアショアエンジニアも活用することで業務の分散化、開発体制のリモート化もすでに安定的に運用しています。



主な技術領域

- ① PM、PMO
- ② PHP、Java、C#、Vue、JS、Unity、UR4 他
- ③ RPA (UiPath/コボット/BizRobo!/WinActor)

【ご注意事項】

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、マクロ環境や業界動向等により変動することがございます。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

【本資料における数値の表示方法】

別途記載がある場合を除き、以下のとおり記載しております。

数値：百万円単位未満切捨て

比率：百万円単位で計算後、小数点第二位を四捨五入

【IRに関するお問い合わせ】

株式会社テンダIR担当：E-mail：cc_ir@tenda.co.jp

電話：03-3590-4150 受付時間：9:00～18:00（土・日・祝祭日除く）





TENDA
EX TENDed Advisor

ITサービスで人と社会の価値を創造します

AIとクラウドによるワークスタイル変革

TENDERNESS FOR YOU